

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 トレンダーズ株式会社
 コード番号 6069 URL <https://www.trenders.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 岡本 伊久男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0 (氏名) 田中 隼人 TEL 03-5774-8876
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	2,366	1.3	356	183.9	360	191.3	240	222.2
2020年3月期第3四半期	2,336	12.3	125	△63.8	123	△65.2	74	△65.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 240百万円 (255.6%) 2020年3月期第3四半期 67百万円 (△67.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	33.85	32.21
2020年3月期第3四半期	10.31	9.77

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	3,479	2,407	69.1
2020年3月期	3,434	2,364	68.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 2,404百万円 2020年3月期 2,362百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、2021年3月期につきましては、現時点で当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,100	0.6	440	93.7	440	96.3	300	△9.4	42.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	7,474,800株	2020年3月期	7,460,400株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	443,658株	2020年3月期	300,210株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	7,110,087株	2020年3月期3Q	7,247,538株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計上の見積りの変更)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社グループが属する日本国内のインターネット広告市場は、広告主の予算がテレビ、新聞、雑誌等のマス広告からインターネット広告へとシフトしており、市場規模は6年連続で2桁成長を遂げております。その結果、2019年のインターネット広告費は、初めてテレビメディア広告費を超え、2兆1,048億円となりました（株式会社電通調べ）。

しかし、このたびの新型コロナウイルス感染症の拡大によって、生活者のライフスタイル及び商品・サービスに対するニーズが大きく変化するとともに経済が先行き不透明な状況となっており、当社の顧客企業を含む多数の企業において、広告予算の縮小や広告手法等の見直しが発生しております。

こうした環境のもと、当社グループにおいては、顧客企業及び生活者のニーズに合致するデジタルマーケティングソリューションの開発・提供に注力し、価値が向上した営業投資有価証券の売却も実施いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,366,322千円（前年同期比1.3%増）となり、営業利益は356,994千円（前年同期比183.9%増）、経常利益は360,592千円（前年同期比191.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は240,674千円（前年同期比222.2%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

なお、前連結会計年度にギフトEC事業を営む連結子会社の全株式を譲渡したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、「ギフトEC事業」を除いた、「マーケティング事業」「インベストメント事業」の2区分のセグメントに変更しております。

また、第1四半期連結会計期間より、各セグメントの実態をよりの確に把握することを目的として、各セグメントに対する全社費用の配分方法の見直しを行っており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の配分方法により組み替えた数値で比較しております。

①マーケティング事業

マーケティング事業は、企業のPR・プロモーションを主にデジタル・SNS領域で支援するBtoBの「マーケティングソリューション領域」、及び、当連結会計年度より本格的に開始した、ブランド・製品を開発し生活者に販売するBtoCの「ブランド開発領域」から構成されます。

本事業においては、マーケティングソリューション領域のインフルエンサーサービスと美容メディアであるMimiTV等が好調に推移してまいりました。その結果、本事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は1,915,156千円（前年同期比8.3%増）、セグメント利益は289,857千円（前年同期比77.0%増）となりました。

②インベストメント事業

インベストメント事業は、保有する資金を効果的、効率的に運用するため、未上場企業等への投資を行っております。

本事業においては、営業投資有価証券の譲渡による収益、及び、営業投資有価証券として保有する社債の利息収益が発生しました。その結果、本事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は451,165千円（前年同期比21.8%増）、セグメント利益は137,171千円（前年同期比127.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は3,479,366千円となり、前連結会計年度末に比べ44,660千円の増加となりました。主な要因は、のれんの償却及びオフィス縮小にともなう加速償却により固定資産が減少した一方で、受取手形及び売掛金の回収が進み現金及び預金が増加したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は1,072,180千円となり、前連結会計年度末に比べ2,190千円の増加となりました。主な要因は、未払法人税等が減少した一方で、買掛金及び未払金が増加したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,407,185千円となり、前連結会計年度末に比べ42,470千円の増加となりました。主な要因は、配当金の支払いや自己株式取得があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年11月13日に公表いたしました内容から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	972,685	1,096,682
受取手形及び売掛金	560,343	566,977
営業投資有価証券	1,577,498	1,527,498
商品	2,176	8,588
仕掛品	33,440	17,528
その他	27,484	30,081
貸倒引当金	△893	△767
流動資産合計	3,172,734	3,246,587
固定資産		
有形固定資産	105,363	79,453
無形固定資産		
のれん	25,832	7,948
その他	22,717	44,277
無形固定資産合計	48,550	52,225
投資その他の資産	108,057	101,099
固定資産合計	261,970	232,778
資産合計	3,434,705	3,479,366
負債の部		
流動負債		
買掛金	152,094	203,444
短期借入金	600,000	600,000
未払法人税等	130,915	49,847
資産除去債務	—	9,743
その他	157,808	189,658
流動負債合計	1,040,817	1,052,693
固定負債		
資産除去債務	29,171	19,486
固定負債合計	29,171	19,486
負債合計	1,069,989	1,072,180
純資産の部		
株主資本		
資本金	555,369	556,372
資本剰余金	534,369	535,372
利益剰余金	1,476,759	1,617,191
自己株式	△204,415	△304,383
株主資本合計	2,362,082	2,404,552
新株予約権	2,633	2,633
純資産合計	2,364,715	2,407,185
負債純資産合計	3,434,705	3,479,366

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	2,336,311	2,366,322
売上原価	1,422,596	1,275,723
売上総利益	913,714	1,090,599
販売費及び一般管理費	787,961	733,605
営業利益	125,753	356,994
営業外収益		
助成金収入	—	3,989
雑収入	411	3,471
その他	2	1
営業外収益合計	413	7,461
営業外費用		
支払利息	2,375	3,855
その他	—	7
営業外費用合計	2,375	3,862
経常利益	123,791	360,592
税金等調整前四半期純利益	123,791	360,592
法人税、住民税及び事業税	49,700	112,960
法人税等調整額	6,417	6,957
法人税等合計	56,118	119,918
四半期純利益	67,673	240,674
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,028	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	74,701	240,674

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	67,673	240,674
四半期包括利益	67,673	240,674
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	74,701	240,674
非支配株主に係る四半期包括利益	△7,028	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

（有形固定資産の耐用年数の変更）

当社は、出社とリモートワークを併用する新しい働き方への移行に伴ってオフィス面積を縮小することを決定いたしました。これに伴い、当第3四半期連結会計期間において、利用不能となる一部の有形固定資産について、オフィス縮小完了予定日までの期間で減価償却が完了するよう、耐用年数を変更しております。

これにより、従来の方法に比べて当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ14,973千円減少しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	マーケティング 事業	ギフトEC 事業	インベストメ ント事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,767,839	198,066	370,405	2,336,311	—	2,336,311
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,767,839	198,066	370,405	2,336,311	—	2,336,311
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	163,733	△40,378	60,313	183,669	△57,916	125,753

（注） 1. セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額△57,916千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	マーケティング 事業	インベストメ ント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,915,156	451,165	2,366,322	—	2,366,322
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,915,156	451,165	2,366,322	—	2,366,322
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	289,857	137,171	427,028	△70,034	356,994

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額△70,034千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、各セグメントの実態をよりの確に把握することを目的として、各セグメントに対する全社費用の配分方法の見直しを行っております。また、前連結会計年度にギフトEC事業を営む連結子会社の全株式を譲渡したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、「ギフトEC事業」を除いた「マーケティング事業」「インベストメント事業」の2区分のセグメントに変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の全社費用の配分方法に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(社債の引受け)

当社は、2021年1月21日開催の取締役会において、クレアシオン・Pacific合同会社との間で第44回無担保普通社債引受契約を締結することを決議し、2021年1月25日付で締結し、2021年1月28日に取得が完了いたしました。

(1) 目的 純投資

(2) 契約の時期 2021年1月25日

(3) 第44回無担保普通社債の内容

①発行会社	クレアシオン・Pacific合同会社
②発行総額	1,100,000千円(1口100,000千円)
③引受口数	6口
④社債利息	年率6.0%
⑤償還の方法及び期限	満期一括償還。2021年7月27日にその総額を額面100円につき金100円で償還する。
⑥払込金額	600,000千円